



エコトピア

第10号



アタック 滋賀県知事 嘉田由紀子

「もったいないで拓く滋賀の未来」をテーマに、新しい滋賀づくりに取り組まれている嘉田由紀子知事が、湖東地域との関わりについて語っていただきました。

滋賀との関わり、そのきっかけは修学旅行

私は埼玉県で生まれて、中学校の修学旅行で滋賀県、琵琶湖に出会い、こんなところに住んでみたい、と思い、関西の大学を選びました。学生時代にはアフリカで、電気もガスも水道もないという、つまり人間の生きる原点のような暮らしを経験し、大学院生の時代にはアメリカで今度は文明の最先端のような暮らしを3年間経験して、日本に帰ってきました。私自身はずっと社会がどういうふうに変化をしていくのかを考える社会変動論、特に環境、開発による社会変動論というのを研究していました。豊かな地域と貧しい国がますます分かれていって、そして地球規模で環境も汚染されてこれから社会はどうなるのだろうというというようなことを考えながら、未来を思っているときに、アメリカの指導教員が「地球の未来、社会の変動を考えるなら、日本こそモデルですよ」と言ってくれました。明治以降100年間必死に大国に追いつこうとして、そしてヨーロッパ、アメリカ以外で最初に経済発展をした国ですから、「日本の中にあなたが言う地球の未来のヒントはあるはずだから」と、そのアメリカの先生に言われ日本研究をしようということで日本に帰ってきました。そのときにまた大学の指導教員が、「日本の過去の、特に近代化の中で地域社会の変化を学ぶなら滋賀県。農業が今も元気で、そして近代化も進んでいて、深い歴史がある」ということで、そういえば私も修学旅行で最もインパクトを受けたのは滋賀県だったと思い出し、1974年からずっと滋賀県内の様々な地域でフィールドワークをさせてもらってきました。

はじめの一步 彦根市甲崎

個別の地域からこの社会の変化をたどりたいて思って、最初に調査に入ったのが、実は彦根市の甲崎なんです。1974年のことです。

そこでは、まさに湧き水が家の中にわいていて、水道も入っている。でも、水道はあんまり使わない。湧き水のほうが夏は冷たくて冬は温かくていい水なんだよと言われてきた。しかし一方でどんどんその水が出にくくなる。上流に工場ができ、特に愛知川の中流部で出にくくなりました。甲崎というのは下流ですから、中流に工場ができると、湧き水の出が悪くなるんです。でも、行政側としたら、水道があるんだからもうこの湧き水は要らないじゃないかということになる。湧き水より水道のほうが安全であって、そして行政的に管理できるし、望ましい水と言う。そうやってどんどん大地の仕組みが変わっていくのですけれども、大きな時代の変化の中で大事なものを捨てているのではないかと心配になりました。これは飲み水の例なのですが、環境の変化をしっかりと緻密に地域ごとに追跡する必要があると思いました。そこで、1981年、大学院を修了して、滋賀県職員になり、そこで水と人がどのように関わってきたかという研究を本格的に始めました。そういう意味で甲崎は私の研究にとって、はじめの一步となった思い出深い地です。

県職員時の知事



今も清水がポンプアップによって流れている井戸
現在の甲崎集落景観

Contents

- 1・・滋賀県知事
- 1・・湖東の生き物仲間
- 2・・お知らせ
- 2・・団体活動報告



湖東の生き物の仲間



リンドウ

秋ノ山を代表する多年草。青紫色の美しい花は長さ4~5cmあり、茎の先端や葉のわきにつく。花は昼間開き、夜や雨天の日は閉じる。根茎は苦みが強く、乾燥したものを健胃薬として用いられる。

(西澤一弘)



ビワマス(未成魚)

琵琶湖の固有亜種であるビワマス。秋には鮮やかな婚姻色の成魚が湖東地域の河川に産卵のためにやってきます。川で生まれた個体はしばらく成長したのちに琵琶湖へ下ります。

(金尾滋史)

環境フォーラム湖東からのお知らせ



第1回 「エコサロン」開催しました

2007年9月7日(金)の夜に環境フォーラム湖東の会員のみなさんが湖東地域振興局に集まりました。

手作りのおはぎやちらし寿司をいただきながら、お話をしたり、団体の活動発表を聞いたり...

お互いが交流することで、何か新しいこと・活動が生まれることを期待している「エコサロン」。まずはお気軽にどんなひとが湖東地域で環境の活動をしているのか、顔を見に来てください。



活動発表をしてくださった方

- ・ 宇曾川水系を見守る会
- ・ 愛のまちエコライフ
- ・ NPO燦電会(太陽発電者の会)
- ・ 滋賀県自然環境保全学習ネットワーク

湖東地域環境フォーラム

「ツバメの暮らしとまわりの自然」

日程：平成19年11月11日(日)

場所：Viva City彦根 2階 研修室

スケジュール

10:45 開会式

11:00 つばめラボ表彰&ツバメのお話

12:30 体験コーナー開始

・ソーラーカープラモデル(先着順)

・てづくりロウソク

・ツバメの折り紙に挑戦!!

16:00 終了予定

環境フォーラム湖東各団体の活動報告

滋賀自然環境保全・学習ネットワーク

湖東フィールドグループ

6月9日に愛荘町の岩倉川でホタルの観察会を行いました。秦荘公民館でスライドを用いてホタルの生態などを勉強した後、岩倉川に出かけ、現地観察を行いました。少し肌寒い夜でしたが、優雅に飛ぶホタルに大人も子供も見入っていました。



環境学び舎 わのたね

8月4日~5日に美崎公園(守山市)にて『親子DEキャンプ』を行いました。5家族の参加があり、「エコ料理コンテスト」や「エコクラフト」をして、ごみや環境のことを少し考えながら楽しく活動しました。こどもたちの大好きな「虫探し」もしました。普段の生活を見直してみようかな?という感想をきくこともできました!

宇曾川水系を見守る会

宇曾川水系を見守る会では9月30日、彼岸花交流会を開催。環境熱心の各種団体の皆さんが湖東地域を中心に遠くは守山、大津から駆け参じていただきました。

猛暑が続いた今年は彼岸花も彼岸が過ぎても開花せず、花には少々寂しい会場でしたが、50余名の参加者とギター演奏による賑やかな歌声とパーベキュで盛り上がりました。

彼岸花による濁水防止の効果を期待しつつ、今年も12月には移植予定で計画しております。



発行：環境フォーラム湖東 (平成19年10月)

〒522-0071

彦根市元町4-1 湖東地域振興局環境課内

TEL 0749-27-2255 FAX 0749-27-1688

URL <http://www.f-koto.org/>

E-mail info@f-koto.org

環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています

すでに環境に関する活動をされている方やちょっと環境の勉強してみたいという方、企業・市民団体のみなさんまで、どなたでも参加していただけます。

まずはお気軽に、左記事務局までご連絡ください。環境フォーラム湖東に関する詳しい情報をご連絡いたします。